

# 密命5 弦月三十二人斬り 佐伯泰英



かなすぎそうざぶろう  
金杉惣三郎（浪人 元相良藩江戸留守居役） — しの（妻）、結衣（娘）

あやめ（亡き妻）、清之助（息子）、みわ（娘）

てらむらしげざゑもん  
寺村重左ヱ門（亡き元江戸留守居役 しのの父）

せいぞう うおつね や おきゆう にいじまや  
長屋：勢三（豆腐屋）、魚常（魚屋）、八百久（八百屋）、新島屋（乾物屋）

りゅうぞう うたもじ  
柳蔵（旅支度東海屋の番頭）、歌文字（三味線の師匠）

こうじんやきはち とみきち  
荒神屋喜八（火事始末御用）、富吉（人足）、新太（人足）

まつぞう  
松造（小頭） — お由（元ととやの女中）

つるぞう きね  
鶴蔵（老新入り 杵打ちの亀太郎）

かんあみぜんべえ じいちろう ちゅうぞう  
冠阿弥膳兵衛（芝神明の札差） — うい（女房）、治一郎（息子）、忠蔵（番頭）

とうごろう きょう  
登五郎（芝蔭若頭） — お杏（女房 冠阿弥の娘）

たつきち とび  
辰吉（源助町蔭の総頭取） — つや（女房）

さんじ しょうへい まとい  
三次（蔭）、昇平（蔭）、新太郎（纏持ち）、弘吉

けいあん  
溪晏（八丁堀の医者）

いわみてつたろうなりむね  
石見鍔太郎成宗（一刀流道場主）

ずしよのすけ いたみ  
木下凶書助（師範格 福岡藩黒田家）、伊丹五郎兵衛（師範格）

よねつかんべえ ひたち あまぞう  
米津寛兵衛（常陸鹿島 石見の師）、雨三（庭番）、かね（女中）

かじやまりゅうじろう えじましゅうたろう  
梶山隆次郎（師範）、絵島秀太郎（水戸藩士）

かねまさ おおいわ  
鐘正八右衛門（醤油問屋）、大岩六三郎

きづめさ ざゑもん  
媽爪佐左衛門（道場主）、三五郎（弟）

きょうぞく うずみび みねしち  
火頭の歌右衛門（凶賊）、埋火の統五郎、大力の嶺七、藤岡大三

たんじ きぼしまるとびむし きね  
早足の丹治、火付けのお千、黄星丸跳虫、杵打ちの亀太郎

のづ  
野津虎之介

奇助（高輪のチンピラ）、岩松、井吉

きのくにや きざゑもん ためぞう  
紀之國屋喜左衛門（新両替町の両替商）、為蔵（番頭）、勝吉（小僧）

こまん  
子万（飯倉片町の植木屋）

ひびき屋文七（上富坂町の琴三味線職）

しかゑもん  
加賀屋鹿右衛門（浅草東仲町の仏壇商）

そうゑもん  
玉屋壮右衛門（小間物屋）

徳川綱吉（五代将軍）→ 家宣（六代将軍）→

家継（七代将軍）

→ 吉宗（八代将軍 紀州藩主光貞の四男 生母は由利・浄円院）

石川近江守総茂（若年寄）

大岡越前守忠助（南町奉行）、織田朝七（内与力）

西村桐十郎（北町同心→南町同心）

花火の房之助（岡っ引）— 静香（女房 踊り手習い師匠）

三吉（下っ引）、三児（下っ引）、政七（下っ引）、信太郎（下っ引）

猪之吉（下っ引）、義次郎（手先）、義三（手先）

熊吉（下っ引）—うめ（孫娘→女中）

万年の松太郎（御旅町の岡っ引）

笹岩哲州（山田奉行）

山川安左衛門（火付盗賊改役）

板倉和三郎（与力）

旗本 定火消御役

: 小出監物、内藤帯刀、松山山城守、藤堂主計、黒朱染太郎

渡辺津兵衛（一羽流）: 神崎飛雲、片桐紫角、両角銭鬼、宇井鱗太郎